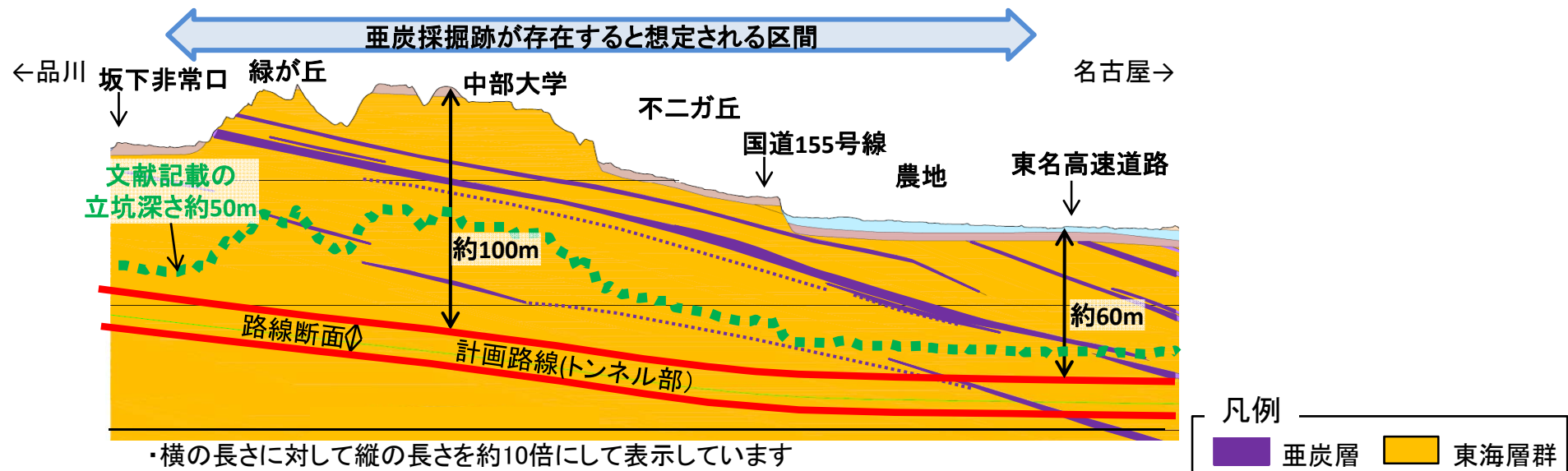


トンネル工事に際して、亜炭採掘跡の空洞への対応はどのように考えていますか。

- これまで実施した地質調査の結果、採掘跡の空洞があると想定される亜炭層と、中央新幹線のトンネルとは離れております。なお、この地質調査では採掘跡の空洞は確認できませんでした。
- また、計画しているシールド工法は発生する振動が小さいこと、非常に深い地盤を通過すること、さらに、付近の地層を構成している東海層群や亜炭層自体が強固な地盤であることから、工事による振動の影響はないものと考えております。
- またシールド工法は、水に対して密閉された構造であるため、採掘跡の空洞を満たしていると想定される地下水を引き込むこともないと考えております。
- 今後、さらに地質調査を実施するとともに、トンネル近傍の空洞への対応としては、必要に応じてトンネル掘削時にトンネル前方の空洞を調査することや、必要に応じて充填工法などを考えています。



亜炭採掘跡の空洞について、文献に深さ50m以上の立坑の記載があり、トンネル近傍にも空洞がありませんか。

- 計画路線周辺の亜炭採掘跡に関する調査結果として、主要炭鉱分布図、資料編の調査結果、及び関係自治体によるボーリング調査の結果を評価書に記載しております。
- この内、資料編の調査結果の中には、高蔵寺町誌の内容を抜粋して記載しており、立坑につきましては、深さが最大53mの立坑を記載しております。
- また、亜炭採掘跡が存在すると想定される区間におけるトンネルの深さは、地表から60～100mで計画しています。
- このため、トンネルの工事及び鉄道施設(トンネル)存在に係る影響の予測結果は、評価書調査結果である既往文献記載の最大53mの深さの立坑も踏まえて、「路線は、大深度地下トンネルとなり、既往文献や調査により想定される採掘跡の空洞の深さよりも深いところを通過すると考える。」と予測しています。
- 評価書にも記載の通り、さらに、トンネル工事実施前には、綿密な空洞調査を行い、必要に応じて対策を講じることとしており、地盤沈下はないものと予測しています。

8 地盤沈下

8-1 亜炭採掘跡に関する調査結果

表 8-1-1(1) 対象事業実施区域周辺の亜炭採掘跡に関する文献調査結果

文献名	内容(抜粋)				
高蔵寺町誌(東春日井郡高蔵寺町役場昭和7年:昭和63年復刻版)	・(竪坑)				
	名称	形状	深度	大きさ	坑道延長
	大生坑	丸形	二十八間(51m)	径三尺六寸(1.1m)	百五十間(272m)
	中根坑	丸形	二十九間(53m)	径四尺(1.2m)	八十間(146m)
	奥生坑	丸形	二十二間(40m)	径三尺八寸(1.2m)	百四十間(255m)
	(横坑)				
	高松坑	角形	二百八十間(509m)		
	宮松坑	角形	百六十間(291m)		
	上野坑	角形	百五十間(272m)		
	松本坑	角形	三百間(546m)		
神明坑	角形	九十間(164m)			

出典:評価書資料編

工事の排水はどのように内津川などに排出しますか。

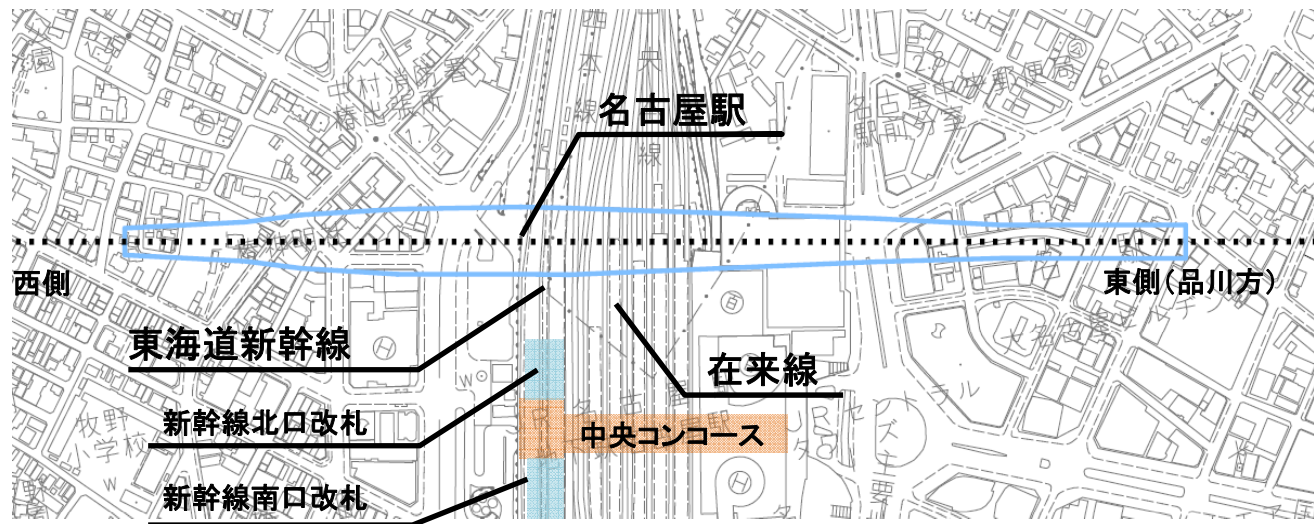
- 建設工事に伴い発生する排水は、発生水量を考慮した処理能力を備えた濁水処理設備を設置し、各自治体において定められた排水基準等に従って適切に処理したうえで、基本的には河川等の公共用水域に放流する計画です。
- また、下水道が整備された地域におきましては、今後、関係行政機関との調整のうえ、下水道への放流の検討を進めてまいります。



濁水処理装置の設置の例
「株式会社榑崎製作所HP」より

名古屋駅での、中央新幹線と東海道新幹線との乗り換えについては、どのように計画していますか。また、改札口はどこに出来ますか。

- 名古屋駅の乗換などの設備計画につきましては、現在、検討を深度化しているところです。
- 中央新幹線名古屋駅は、現在の東海道新幹線名古屋駅の北側コンコース付近に結節し、大阪開業が実現するまでの間、名古屋駅で中央新幹線と東海道新幹線との乗り換えになりますので、約30mの高低差にて、スムーズに乗り換えできることを重視して、エスカレータやエレベータの設備計画などを深度化してまいります。
- また、中央新幹線の改札口は、現在の東海道新幹線の北口改札を活用することを基本として、検討を深度化してまいります。



※水色の線は、概ねの範囲を示しており、詳細な範囲は、今後の現地測量と設計により確定します。

名古屋駅の西側・東側の工事は、いつから始めるのですか。

- 名古屋駅西側・東側につきましては、事業説明会以降、現地に測量に入らせていただき、線路の中心線測量などを行います。
- その後、27年度には、中央新幹線の事業に必要な土地の権利を有する皆様に、用地説明を行います。
- 用地説明の後は、個別に用地測量や補償内容の説明を行い、用地取得に必要な契約の手続きを行います。
- 工事につきましては、用地取得の状況にも拠りますので、具体的な時期は申し上げられませんが、用地をある程度取得させていただいた上で、準備ができたところから工事に着手させていただければと考えております。
- 工事の着手前には、工事説明会を開催して、沿線の皆様に工事内容等のご説明をいたします。

工事工程表(名古屋駅)

⑧ 今後の進め方・予定

駅西側、駅東側

【用地取得を伴う範囲】

場所 工種		年度	H26	H27	H28	H29	H30	【用地取得を伴う範囲】	
			事業説明会 (区単位) ▼ (学区・地区) ▼	用地説明会 ▼		工事説明会 ▼			H38
地下駅 開削	測量、用地関係		中心線測量等	用地測量、用地取得					
	掘削、支保工								
	コンクリート構造物構築工								
	埋戻工								
	ガイドウェイ設置工								
	電気機械設備工								

※工事計画は現時点の計画であり、変更の可能性があります